

西初石中学校の姿

中期目標
2年後に実現させる学校の姿

□令和5年度のコミュニティースクールの開始に向け、学校運営協議会の設置準備が完了し、本校のミッションのもと、目指す生徒像を保護者、地域（機関・住民）と共有し、学校と地域機関、地域人材が共に生徒の育成にかかわる教育課程の運用の準備が完成している。

□すべての生徒が主体的に学習に取り組み、考えや思いを仲間と語り合い、新たな課題を見出し、解決しようとする生徒が育つ学校になる。

短期目標
令和3年度末に実現すること

□新学習指導要領に対応した教育課程の完全実施を目指す。

□総合的な学習の時間の核にSDGsを位置づけ、教科横断的なカリキュラムを実践する。

□地域貢献活動や外部人材を活用した教育活動が定着し、学校を核とした地域づくりに取り組む。

□生徒は、自分の思いを言葉にし、語り合うことができる。

【社会に対する本校のミッション（使命）】 未来を切り拓く力をもった生徒を育成する

【学校教育目標】
感謝・自立・貢献

【目指す生徒像】
「感謝」：何事に対しても、感謝の気持ちを忘れず取り組むことができる生徒
「自立」：自ら考え、判断し、課題解決のために行動することができる生徒
「貢献」：社会に対し、自分の力を役立てることができる生徒

実現に向けた**3つの重点目標**をプロジェクトチームで

- 1 授業改善
- 2 地域学校協働本部、異校種等との連携
- 3 学校組織による取組と人材育成

西初石中学校の職員の姿

- 1 周りを大切にし、気配りができる職員
- 2 この仕事にそして自分の職場に誇りを持って、真摯に仕事ができる職員

「未来を切り拓く力を育てる」6つの資質・能力

- 探究力**：課題を見出し、考え、判断し、解決する力
思考力 判断力 解決力 疑問力 発想力 知識 技能
- コラボレーション力**：協働する力
コミュニケーション力 聴く力 伝える力 対話力 説明力
企画力 言語表現力 リーダーシップ フォロアーシップ
- 共生力**：多様性を認め、協調していく態度や力
協調性 他者理解 自己理解 人権意識 グローバル力 アイデンティティ
- 自律力**：自らの意志で正しい道徳法則を打ち立て行動する心や、体を調整する力
自主性 自立力 対応力 積極性 意志決定力 身体性
- 情報活用能力**：課題解決のために知識や情報を活用し、論理的に考える力
情報収集力 情報分析力 批判的思考力 論理的思考力
- 創造力**：新しい考え、行動、表現等を創り出す力
発想力 表現力 想像力 感じる力

3つのプロジェクト

	深い学びづくりプロジェクト	語り合いプロジェクト	かかわりプロジェクト
課題	総合を軸とした探究カリマネ	本音を語れる人間関係づくり	様々な人や関係機関との連携
課題解決手段	1 授業改善 □総合的な学習の時間の年間計画の確立 「6つの育てる資質・能力」の育成に向けた教科横断的なカリキュラムの作成 □考えを「文字・言葉にする」「伝え・聴く力」や「論理的思考」を育てる授業の実践 2 地域学校協働本部、異校種等連携 □授業ボランティアの活用 □小学校と系統性のあるカリキュラムづくり 3 組織取組の徹底と広報 □目標申告と連動した教科経営の実施 □HPや学校関係者評価委員会、ミニ集会等での広報	1 授業改善 □全ての生徒が認められ、安心感のある学びの集団づくり（ルールとリレーション） □生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導（特支コーディネーターの機能の活用） 2 地域学校協働本部、異校種等連携 □民生児童委員やSC、専門外部機関との連携 □外部人材を活用した諸活動 3 組織取組の徹底と広報 □計画的な研究（研修）の実施 □HPや学校関係者評価委員会、ミニ集会等での広報	1 授業改善 □カリマネの視点から各教科、諸活動での連携や協力、多様性等について学ぶ。 □地域人材や関係機関を活用した授業実践 2 地域学校協働本部、異校種等連携 □貢献隊活動（ボランティア）の実施 □幼保小～学校～高齢者福祉施設・自治会等との交流教育 3 組織取組の徹底と広報 □地域コーディネーターを中軸とした協働体制づくり □HPや学校関係者評価委員会、ミニ集会等での広報
期待する成果	□論理的思考を基に、探究的に学ぶ姿勢を持つ生徒を育成することができ、学校は、新たな課題を見出し、課題解決に向けた次年度のカリキュラムづくりへ動くことができる。 □地域学校協働活動が活性化し、学校を含めた地域が「一体になって地域をつくる」意識や、その活動の気運が高まる。		